

鈴鹿バイロータリークラブ
創立15周年記念事業を終えて

2004年に15周年準備委員会が発足され、会員の皆様のご意見を聞かせて頂く例会から出発致しました。

何回かの準備委員会を重ね記念事業の内容として

- (1) 薬物乱用防止活動
- (2) 鈴鹿青少年公園への桜の記念植樹
- (3) 記念例会開催

を決定しました。「三つの事業を通して15年と云う節目の年にクラブの力がどれだけ出すことが出来るか」と思いつつ本年度に入りました。

「薬物乱用防止活動」は鈴鹿市教育委員会の、「鈴鹿青少年公園への桜の記念植樹」は三重県北勢県民局建設部のご協力を仰ぎ慣行することができました。

そして友好クラブである釧路バイロータリークラブのPast会長のご紹介で「道下俊一先生の記念講演会」が実現致しました。先生の御講演は多くの方々への感動を与えて頂きました。

最後に、地域の方々の絶大なるご協力のもとで創立15周年事業を想像以上の結果が残せたと思っております。そして会員の皆様はもとより、会員奥様方の多大なるご協力賜り本事業を成し遂げることが出来たことを心より感謝申し上げます。

鈴鹿バイロータリークラブ
創立15周年実行委員会
委員長 篠原邦博



創立15周年 記念事業 【薬物乱用防止活動】

日本でも、若者の間に覚せい剤・麻薬等の薬物乱用が顕著になって来ています。10年前、米国では、すでに、小学生、中学生、高校生が校内に薬物を持ち込んで、取引、乱用をして様々な犯罪を招いていると報道されており、我が国では、とても考えられないこととっていました。しかし我が国は、良いことも悪いことも、戦後は10年サイクルで米国から入って来ると言われており、薬物乱用問題も例外ではありませんでした。日本の家族が、アメリカナイズされて来ていると同時に、ここ1・2年の間に大変危惧される状態が日本でも起こっており、高校生が校内で覚せい剤の乱用をして逮捕されるという事件、小・中学生が覚せい剤を乱用して逮捕された事件が頻繁に起こっています。



鈴鹿パイロータリークラブでは青少年の薬物乱用を阻止しようと取り組んでまいりました。

この度、創立15周年を迎えるにあたり、教育委員会並びに市内の小中学校全てに薬物乱用防止啓発資材として、VTR「もとう！正しい知識とことわる勇気」の贈呈を創立15周年記念事業といたしました。



今後も日本の次世代を担う青少年の育成に努力する所存であります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

創立15周年 記念事業 【さくらの記念植樹】

鈴鹿市は西に鈴鹿山脈を望み、東に伊勢湾に抱かれた自然豊かな環境にあります。幼少の頃には山に話し、土と交え、海と戯れた忘れがたし思い出が胸の内に潜んでおります。昨今の処々自然破壊により市内各所より緑が少なくなってしまったことを子ども達にどう説明すればよいのでしょうか。



鈴鹿パイロータリークラブでは創立時より鼓ヶ浦海岸にて「羽衣並木復活作戦」と題し近隣小中学校卒業生・市内ボランティアグループ・鈴鹿西プロバスクラブの方々と共に毎年約800本の松の苗木を植えてまいりました。

この度、上記環境保全の一環として三重県立鈴鹿青少年センターにさくら樹50本を植え、創立15周年記念事業として三重県に寄付いたしました。この樹が大きく育ち、地域の桜の名所となることを祈ります。

創立15周年 記念事業 【道下俊一先生 記念講演会】

鈴鹿パイロータリークラブでは創立15周年記念事業として、地域の方々をお迎えし記念講演会を開催することとなりました。講師には北海道 札幌市より医学博士 道下俊一氏をお招きいたしました。



道下先生はNHKプロジェクトXでも紹介されたように霧多布・浜中診療所にて47年間にわたり地域の医療奉仕を全うされました。数々の困難を

克服され本当に自分を必要としている人々の暮らす霧多布こそ自分にとっての故里であると「霧多布人」になれる決意をされました。



社会でいう「職業倫理」とは・・・。

ロータリークラブで唱える「職業奉仕」とは・・・。

霧多布の地で激務された道下先生のへき地医療にささげた47年間に聞いていただきました。